年秋に発足した

ろ風味のトースト」 どガイドをして巡りました。 ボランティアガイド協会(岩田 者は上ノ国の歴史と食を楽しみ 宅や上ノ国八幡宮、 た47名の参加者に、 初めての本格的なツアーとなり 山菜のかき揚げ」 料理も振舞われ、 ツアーを実施しました。 この日はガイド協会設立後、 名の参加者に、旧笹浪家住から本町の史跡巡りに訪れ お昼には地域で採れた が、4月26日にガイ などの手作 や「きとび 勝山館跡 な



4 月 20 日 各町内会が主体と 分

作戦が行われ、 なって町内一

斉クリーンアップ

多くの方が参加

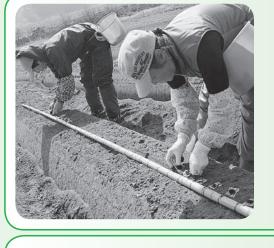
の小さなゴミも見逃さないよが見られ、草の中にある目立たが見られ、草の中にある目立たは7時前からゴミを拾う人の姿は7時前からゴミを拾っ人の姿 されました。 丁寧に拾っていました。 にのぼり、町内のゴ回収されたゴミの量

約6トンにのぼり、

月 日

ないため、解消が望まれていま4~6年間も休ませないとならで病気になり、一度植えた畑はドウは、連作を行うと高い頻度 じ畑に何度も植えると発生するこの土壌消毒剤は、作物を同人の農業関係者が参加しました。 町の特産品であるキヌサヤエン期待されているもので、特に本 期待されているもので、特に本連作障害を解消する手段として · 壌消毒剤 の使用・ 実演会が行われ、 クロルピクリン錠

かれ、町としても今後の収穫になら使ってみたい」との声も聞だめになっていた、解消できるいから必ず何割かは連作障害でいから必ず何割かは連作障害で 期待を寄せています



した。 足早く桜の木がお目見えしま、4月24日、道の駅もんじゅに、

ででである。 ででで、大の幹のイラーででででででで、上ノ国の観光振興公社がでで、大の幹のイラーでで、大の幹のイラーでで、大の幹のイラーでで、大の幹のイラーででで、上ノ国の観光振興公社がのである。 である。 で、大の手形で花ので、大の幹のイラーでで、上ノ国の観光振興公社ができる。 で、大の幹のイラーでは、「もっと身近な道のでは、「もっと身近な道ので、大の手形で表現できまった。」 びらを描きました。 この手形でできた桜の花は、





を楽しませていました。

の駅もんじゅの壁に張り出さ 地元の方や訪れる観光客